

AGC株式会社 (東証一部 5201)



オンライン会社説明

2021年9月28日

Your Dreams, Our Challenge

■ 会社概要	P.3
■ 成長戦略	P.13
■ GHG削減の取り組み	P.32
■ 今期業績予想と株主還元	P.38

会社概要

会社名	A G C株式会社
証券コード	5201
創立	1907年 9月8日
代表取締役	平井 良典
資本金	909億円*
連結売上高	1兆4,123億円*
連結従業員数	56,179人*
連結子会社数	217社（うち海外179社）*

代表取締役
社長執行役員・CEO
平井 良典



～ 株主メモ ～

- 決算期 12月31日
- 定時株主総会 毎年3月
- 基準日
 - 定時株主総会 12月31日
 - 期末配当 12月31日
 - 中間配当 6月30日
- 株主名簿管理人
三菱UFJ信託銀行(株)
- 単元株式数 100株
- 発行済株式総数 227,441,381株

1907年（明治40年）岩崎俊彌が旭硝子創業



創業の精神 “易きになじまず難きにつく”

『人がやっていない事業は他にいくらでもあるが、やる以上は国のためになること、この国に暮らす人のためになることをやり遂げたい。それが私にとっての板ガラスの製造だ。』

- AGCグループ内で共有すべきビジョンを2002年に制定*
- “*Look Beyond*”こそが私たちのサステナビリティ経営の基盤



■ 時代の変化に合わせて、必要な素材・ソリューションを提供



建設ラッシュ



モータリゼーション



テレビ時代の到来



環境配慮型事業・
商品の拡大



ITの進化



IoT時代の
本格到来



5G通信
開始

1907
年

1910
年代

1950
年代

1970
年代

1990
年代

2000
年代

2010
年代

2020
年代



耐火煉瓦
製造開始

ソーダ灰
製造開始



自動車用ガラス事業開始



旭硝子創業
板ガラス事業開始



ブラウン管用
ガラスバルブ事業開始



イオン交換膜
開発に成功



LCD用無アルカリ
ガラス事業開始



代替フロンAK-225
生産開始



デジカメ向け
色調補正用フィルター
事業開始



スマホ用化学強化
ガラス事業開始



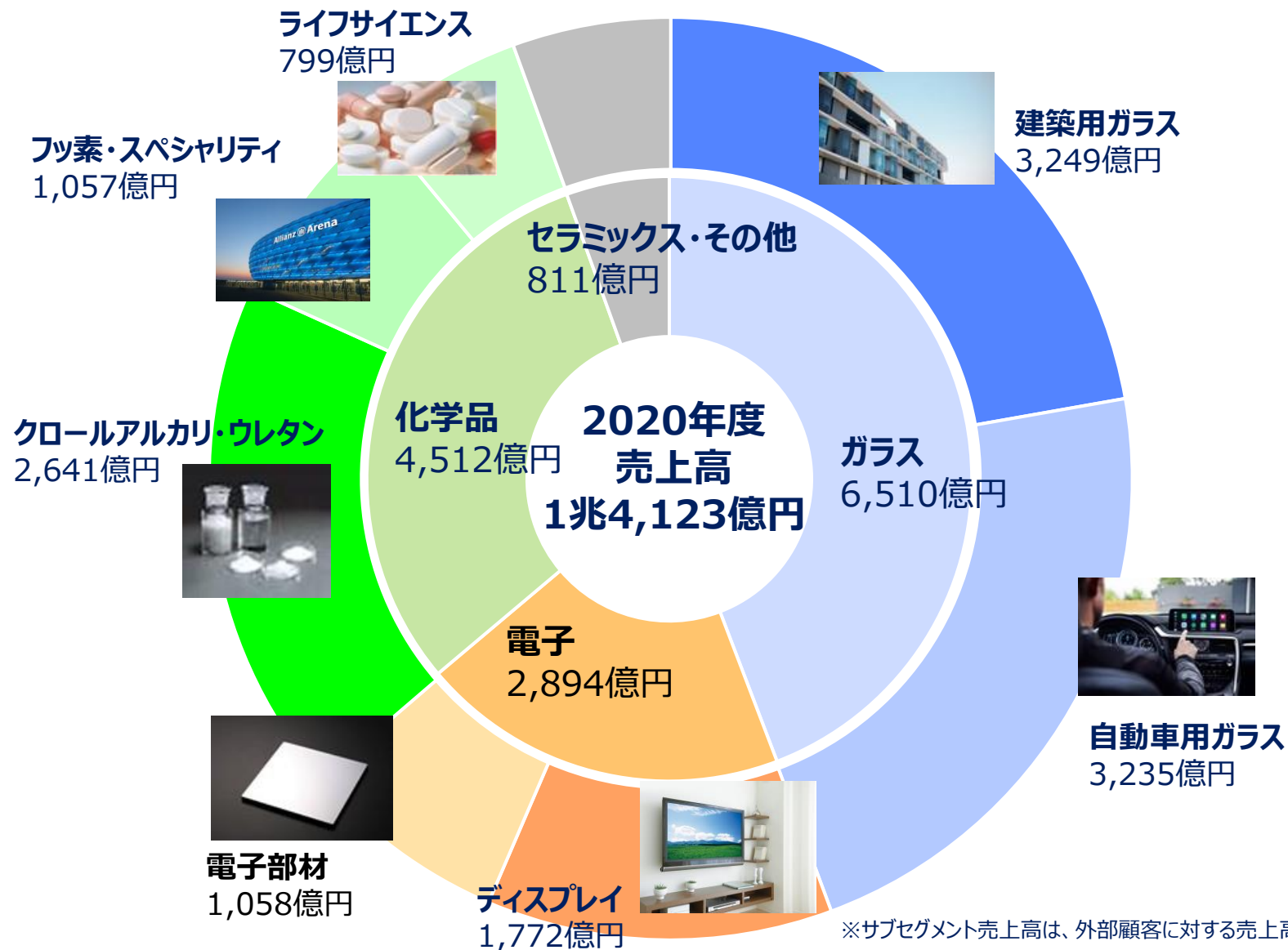
EUVマスクブランクス
事業開始



医農薬中間体
受託生産事業開始



窓を基地局化する
ガラスアンテナを開発



30を超える国と地域で事業を展開 海外売上高比率は約7割、海外子会社従業員比率は約8割

売上高：1兆4,123億円 営業利益：758億円 グループ従業員数 約56,200名

(2020年12月期)

ヨーロッパ

売上高：3,125億円
営業利益：69億円
従業員数：約17,000名

- ・建築用ガラス
- ・自動車用ガラス
- ・フッ素
- ・ライフサイエンス

日本・アジア

売上高：9,453億円
営業利益：1,017億円
従業員数：約34,100名

- ・建築用ガラス
- ・自動車用ガラス
- ・ディスプレイ用ガラス
- ・電子部材
- ・クロールアルカリ・ウレタン
- ・フッ素・スペシャリティ
- ・ライフサイエンス
- ・セラミックス

アメリカ

売上高：1,545億円
営業利益：34億円
従業員数：約5,100名

- ・建築用ガラス
- ・自動車用ガラス
- ・電子部材
- ・フッ素
- ・ライフサイエンス

※地域別売上及び利益は、消去、地域共通費用控除前の数字であるため、各地域別売上及び利益の合計は全社売上及び利益とは一致しません

多くの製品で世界トップクラスのシェアを持つ

フロート板ガラス
世界 No.1



自動車用ガラス
世界トップシェア



車載ディスプレイ用
カバーガラス
世界 No.1



TFT液晶/有機EL用
ガラス基板
世界 No.2



電子機器用超薄板
ソーダライムガラス
世界 No.1



苛性ソーダ
塩化ビニル樹脂
東南アジア No.1



(原料となる塩の山)

ETFE樹脂
(フッ素樹脂)
世界 No.1

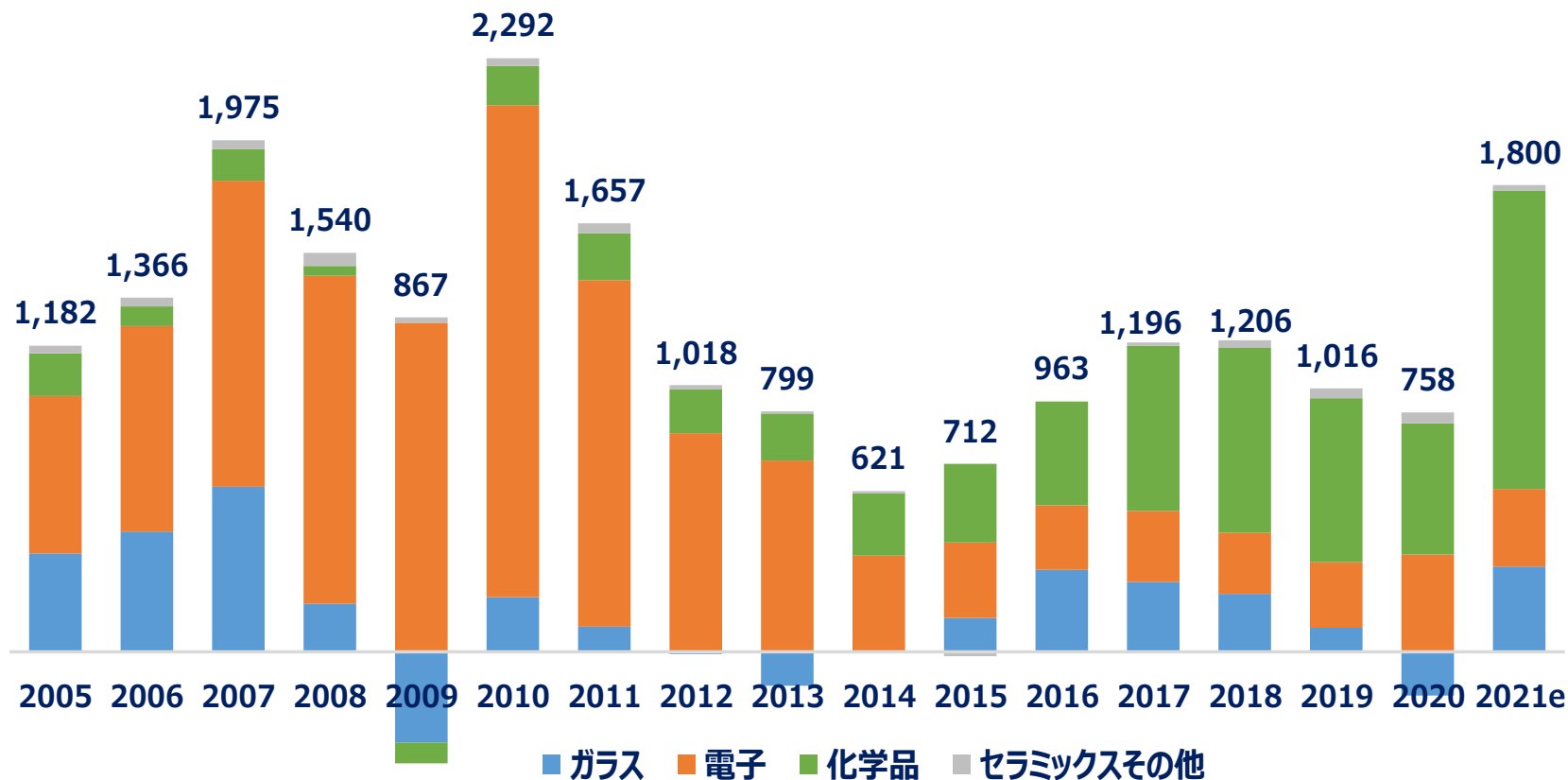


現場塗装塗料用
フッ素樹脂
世界 No.1



※当社推定

セグメント別営業利益推移（億円）



※ 2005-2011年は日本基準ベース、2012年以降はIFRSベース

※ セラミックス・その他、および消去の数値を除いたグラフの為、各セグメントの合計値は営業利益の合計と一致しません。

FTSE4Good Index Seriesに選定



FTSE Blossom Japan Indexに選定



女性活躍推進に優れた企業を選定する
「なでしこ銘柄」に昨年に引き続き選定



「日経スマートワーク大賞2021 審査委員特別賞」を受賞



「健康経営優良法人2021ホワイト500」
に選定



EcoVadisサプライヤー評価で最高ランクを取得
鹿島工場：「PLATINUM」
千葉工場、AGCファーマケミカルズ：「GOLD」

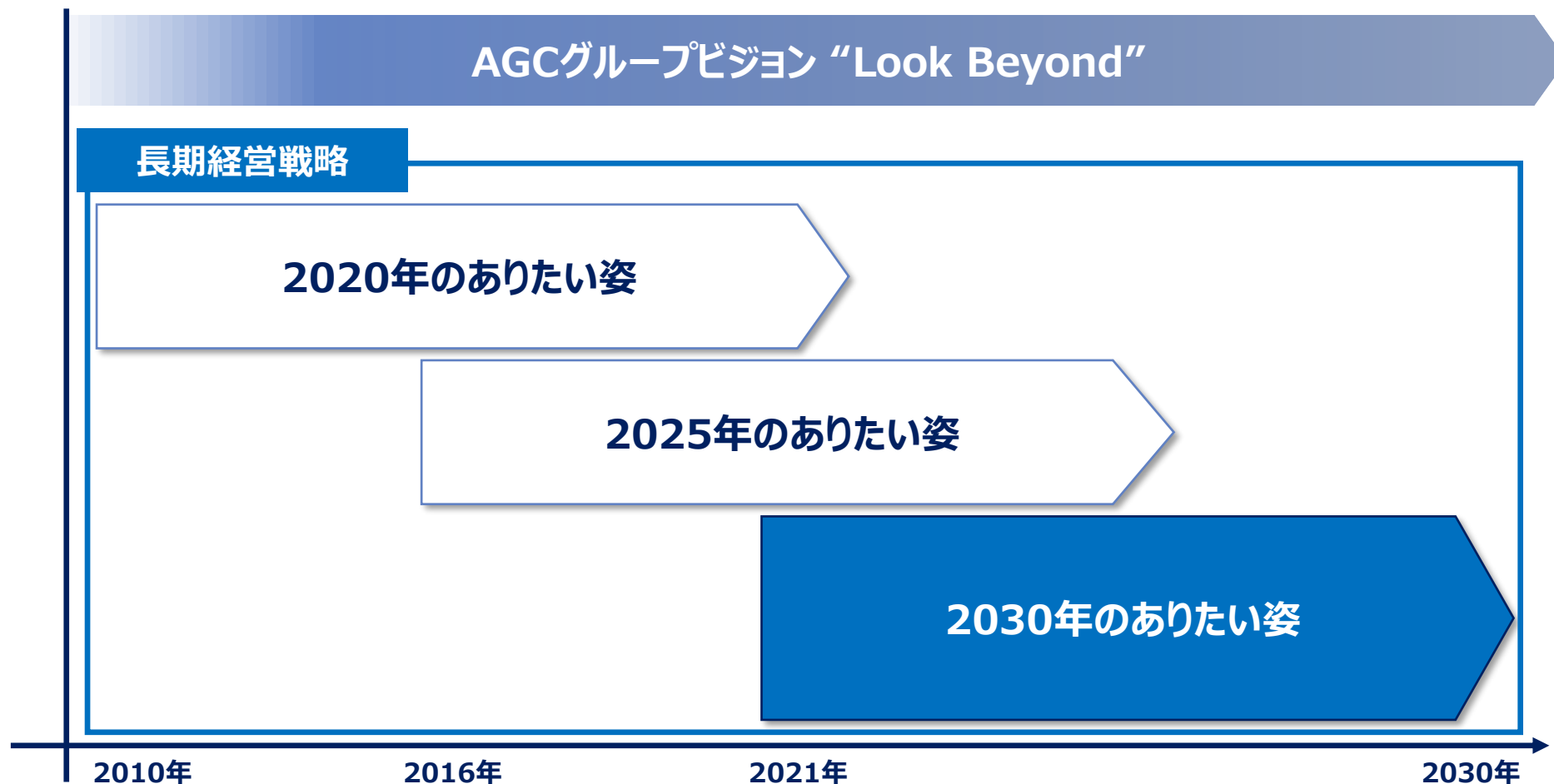


Derwent Top 100 グローバル・イノベーター 2021
に選定

企業としてのデジタル化を評価され、
「DX注目企業2021」に選定

成長戦略

- グループビジョン “Look Beyond”のもと、10年後を見据えた長期経営戦略を策定し、持続的な企業価値向上に取り組む



**独自の素材・ソリューションの提供を通じて
サステナブルな社会の実現に貢献するとともに
継続的に成長・進化する
エクセレントカンパニーでありたい**

全社戦略

コア事業と戦略事業を両輪として、最適な事業ポートフォリオへの転換を図り、
継続的に経済的・社会的価値を創出

コア事業

各事業の競争力を高め、強固で
長期安定的な収益基盤を構築

戦略事業

高成長分野において、自社の強みを活かし、
将来の柱となる高収益事業を創出・拡大

AGCグループの強み

幅広い産業・
社会に広がる
お客様との
繋がりと信頼

独自の素材・
技術

生産技術力・
プロセス開発力

多様な人財が
融合する
グローバル一体
運営

チャレンジを
奨励する
企業文化

次世代を担う成長産業に独自の素材を供給

【マクロ環境の変化】

IoT時代の到来

交通インフラの進化

新たなエコシステムの構築

長寿命化

世界人口の増加

安全・安心・快適の追求



モビリティ

つながる車／自動運転
情報表示の進化
輸送機器の更なる軽量化



エレクトロニクス

IoT/AI時代の到来
次世代高速通信／自動運転
新デバイスの普及



ライフサイエンス

安心・安全な治療
長寿命化
世界人口の増加

戦略事業

2030年のありたい姿 財務目標

■ 2030年までに過去最高益を更新し、安定的にROE 10%以上を達成する

	FY2020実績	FY2023目標	FY2025 目標	FY2030 目標
営業利益	758億円	1,600億円	2,000億円	2030年までに 最高益※を更新し 安定的に ROE10%以上 を確保
R O E	2.9 %	8 %	9 %	
戦略事業 営業利益	444億円	700億円	1,000億円	
D/E比率	0.63	0.5以下	0.5以下	

※過去最高益：
2010年度 営業利益 2,292億円

■ 社会課題の解決に向け、事業活動を通じた5つの社会的価値を創出

重要機会

- 社会インフラの整備
- 安全・快適なモビリティの実現
- 食糧問題への対処
- 情報化・IoT社会の構築
- 健康・長寿社会への対応

- 気候変動問題への対応
- 資源の有効利用

重要リスク

- 社会・環境に配慮したサプライチェーン
- 公正・平等な雇用と職場の安全確保
- 地域社会との関係・環境配慮

あらゆる事業活動でサステナビリティ目標に取り組む

安全・快適な都市インフラの
実現への貢献

安心・健康な暮らしの
実現への貢献

持続可能な地球環境の
実現への貢献

健全・安心な社会の
維持への貢献

公正・安全な働く場の
創出への貢献

■「2030年のありたい姿」の実現を確実にするため、中期経営計画 *AGC plus-2023* で以下戦略を加速

“両利きの経営”の追求

- ・戦略事業領域の事業成長を加速させるとともに、新しい事業領域(エネルギー関連領域など)を探索
- ・コア事業のうち収益性・資産効率に課題が残る建築用ガラスと自動車用ガラスは構造改革を実施
- ・その他のコア事業は収益基盤とキャッシュ創出力を強化

サステナビリティ経営の推進

- ・素材イノベーションにより社会課題解決を加速
- ・2050年にカーボンネットゼロを目指す
- ・人財とグループガバナンスを強化



DXの加速による競争力の強化

- ・ビジネスモデルの変革も見据え、開発から販売までの一連のプロセスをデジタル技術で変革
- ・デジタル技術を使い、お客様と社会に新たな付加価値を提供し、競争優位性を実現

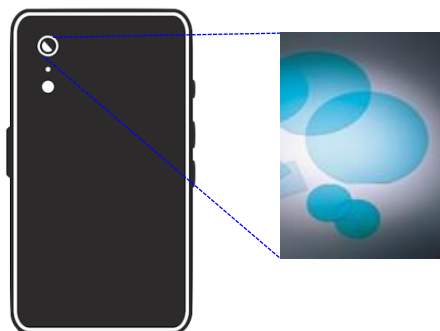
	FY2020実績		FY2023目標
営業利益	758億円		1,600億円
R O E	2.9 %		8 %
戦略事業 営業利益	444億円		700億円
D/E比率	0.63		0.5以下

	事業	主要課題	方向性
戦略事業	エレクトロニクス	・EUVフォトマスクブランクスを始めとする高付加価値製品の拡大 ・継続的な新ビジネスを創出	成長を更に加速
	ライフサイエンス	・タイムリーな投資の実施により、事業を拡大 ・グローバル展開・技術対応力を強みに高い成長を	
	モビリティ	・CASEによる市場変化を見据え、事業機会を確実に捉える ・中国で車載ディスプレイ用ガラス量産を開始し、収益貢献	
コア事業	ディスプレイ	・中国市場の更なる需要増に対応し、長期安定的な事業基盤を構築	前中計で設定した基本戦略に変更なし
	クロールアルカリ・ウレタン	・タイ、インドネシアでの増設を通じ、東南アジア事業の基盤を一段と強化	
	フッ素・スペシャリティ	・高付加価値化と事業領域拡大で、グローバルニッチ市場の需要取り込み ・環境課題を事業機会に変える	
	建築用ガラス 自動車用ガラス	・投資を最小化し、資産効率を高める ・生産性改善とコスト削減を着実に進め、収益性を改善、キャッシュ創出力を強化	構造改革を加速

スマートフォン/半導体製造プロセス用部材 に加え、5G対応部材も展開



スマートフォンカメラ用 赤外線吸収ガラスフィルター



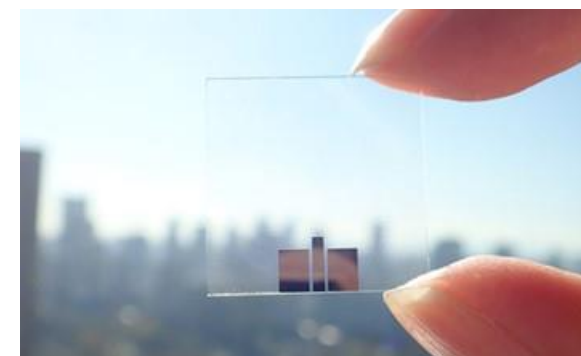
・スマートフォンカメラの高画質化に貢献

EUV露光用 フォトマスクブランクス



・15年の開発期間を要した
次世代半導体製造プロセス部材

5G対応合成石英アンテナ



・透明化することで、視認エリアでも、
美観や景観を損なわない

EUV露光機市場の拡大に合わせたタイムリーな投資を実施し、急拡大するマスクブランクス需要に確実に対応

～ 2020年07月27日ニュースリリース ～

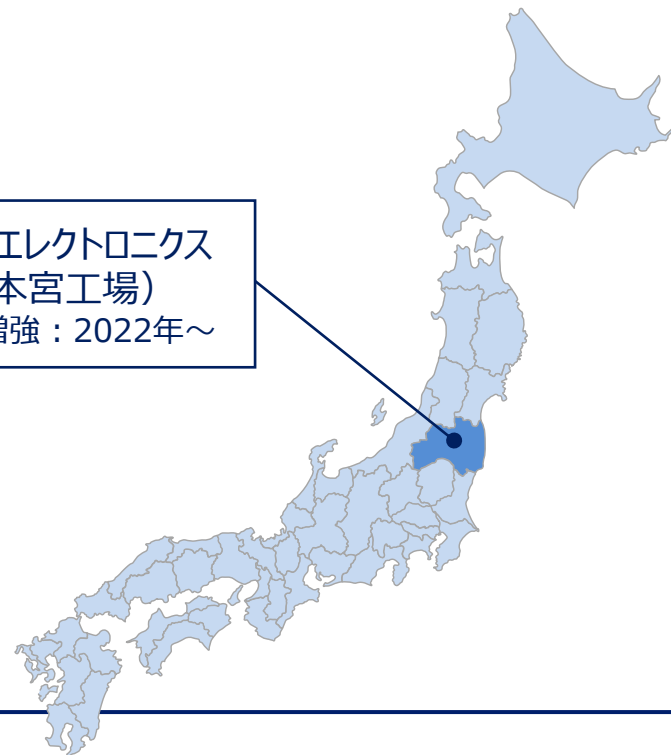
更なる市場の伸長に対応するため、グループ会社であるAGCエレクトロニクス（本社：福島県郡山市）において、供給体制を大幅に増強することを決定

2020年10月より建屋拡張を含めた増強工事に着工、2022年より生産開始予定

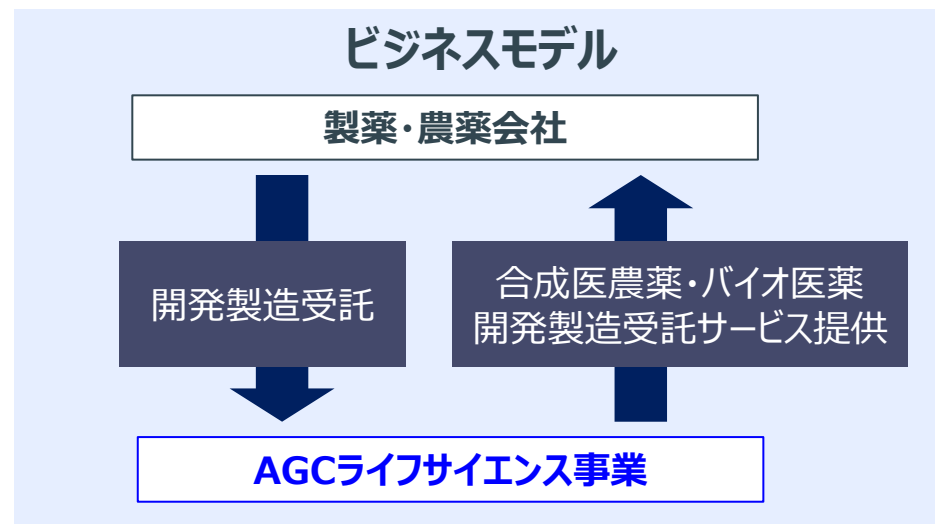


建屋拡張後のAGCエレクトロニクス社（イメージ）

AGCエレクトロニクス
（本宮工場）
能力増強：2022年～



臨床試験から商業生産までの 医薬品原薬を開発製造受託

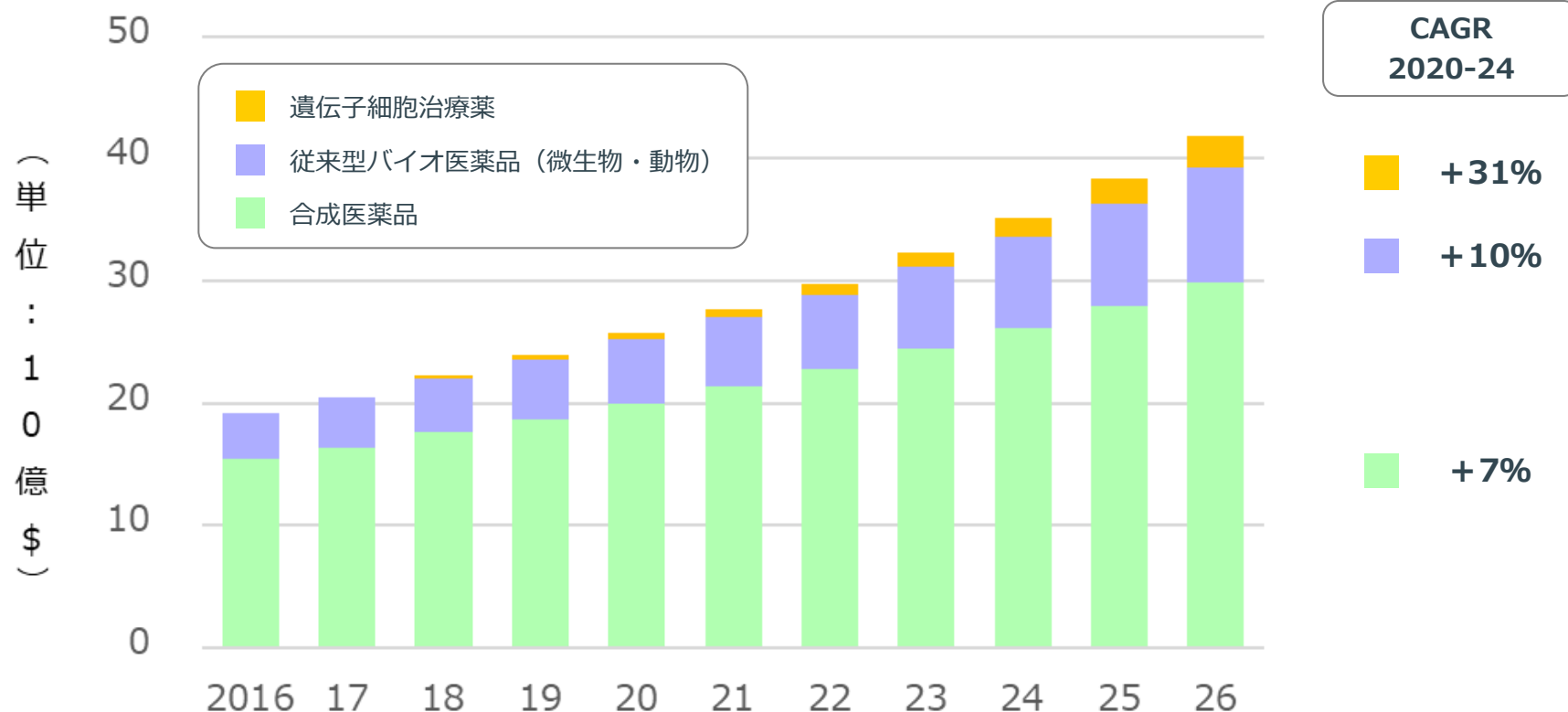


合成医農薬・バイオ医薬の開発製造受託



■ 世界医薬品原薬CDMO市場は2020年⇒24年でCAGR+約8%を見込む

医薬品原薬CDMO市場規模推移（当社推定）

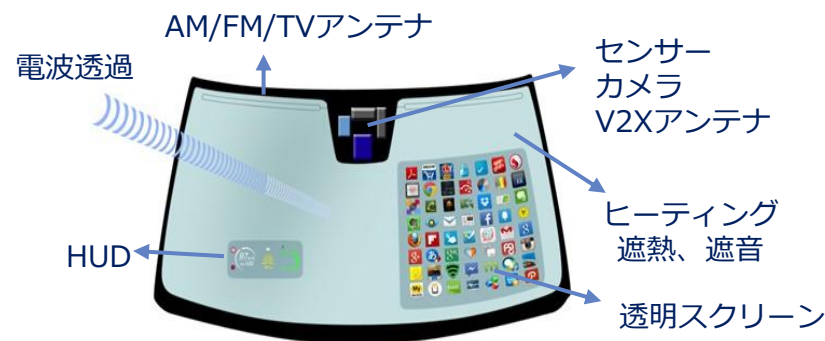


(ご参考) 新型コロナウイルス感染症関連の受託

社外発表 時期	受託元企業	発表内容
2020年 5月 14日	AdaptVac社 (デンマーク)	ワクチン候補の製造を受託 
2020年 5月 14日	CytoDyn社 (アメリカ)	当社が受託する治療薬候補「レロンリマブ」 米国での臨床試験進行 
2020年 5月 21日	タカラバイオ社 (日本)	DNAワクチン中間体の製造を受託 
2020年 6月 4日	Novavax社 (アメリカ)	ワクチン候補「NVX-CoV2373」の アジュバントを受託 
2020年 7月 20日	Molecular Partners AG (スイス)	治療薬候補「MP0420」の製造を受託 
2020年 8月 18日	Novavax社 (アメリカ)	ワクチン候補「NVX-CoV2373」 アジュバントの受託規模を約1.5倍に拡大 
2021年 6月 8日	BioNTech社 (アメリカ)	Pfizer-BioNTech COVID-19ワクチンの 原材料であるプラスミドDNAの製造を受託 

ガラスのディスプレイ化や通信機能付加などにより 素材だけでなくソリューションまで提供

次世代ガラスのキーワード
「ガラスは一等地」
「マルチファンクション」



車載用ディスプレイカバーガラス



・現在アウディ『A8』などに採用されており、
世界シェアNo.1

5G対応自動車用ガラスアンテナ



・NTTドコモ、エリクソンと共同で
「車両ガラス設置型アンテナ」による5G通信に成功

■ 中国新拠点の設置によって、市場拡大が見込まれる車載ディスプレイ用カバーガラスのグローバル供給体制を構築

新設生産拠点の概要

社名	艾杰旭汽车玻璃（蘇州）有限公司
事業内容	車載ディスプレイ用カバーガラスの生産
販売開始	2022年（予定）



車載ディスプレイ用カバーガラスの主要拠点



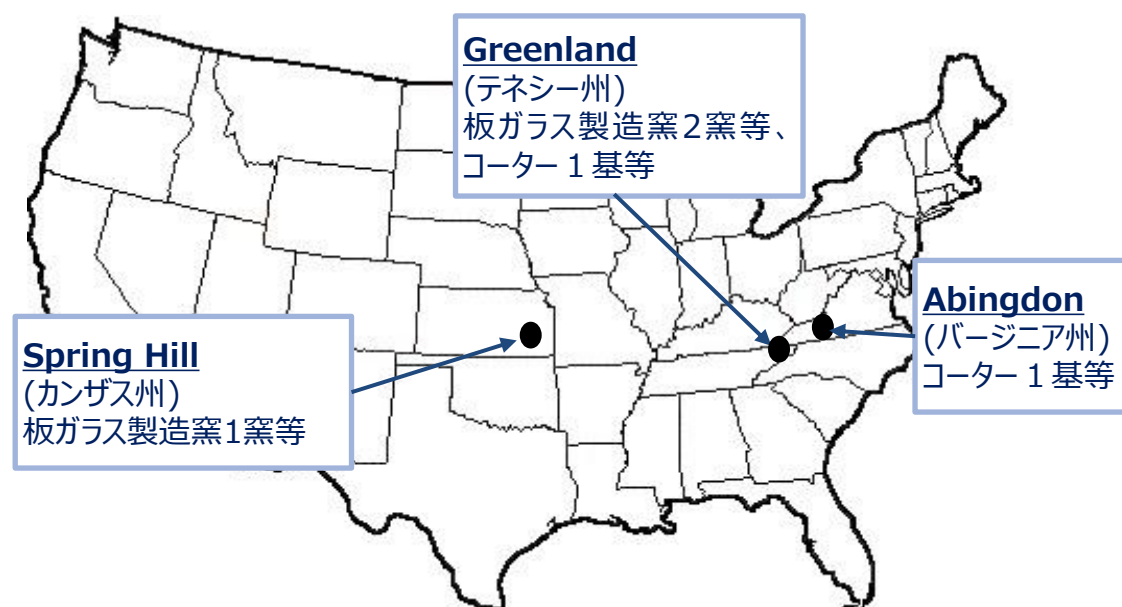
コア事業：北米建築用ガラス事業譲渡

■ 長期的・戦略的なポートフォリオの観点から、米国Cardinal Glass Industries社に北米建築用ガラス事業を譲渡

事業譲渡の概要

譲渡先	Cardinal Glass Industries
譲渡金額	USD 450百万
譲渡完了日	2021年8月2日(米国時間)
本年度の業績影響	売上高： ▲約200億円 営業利益： ▲約 20億円 その他収益： +約250億円

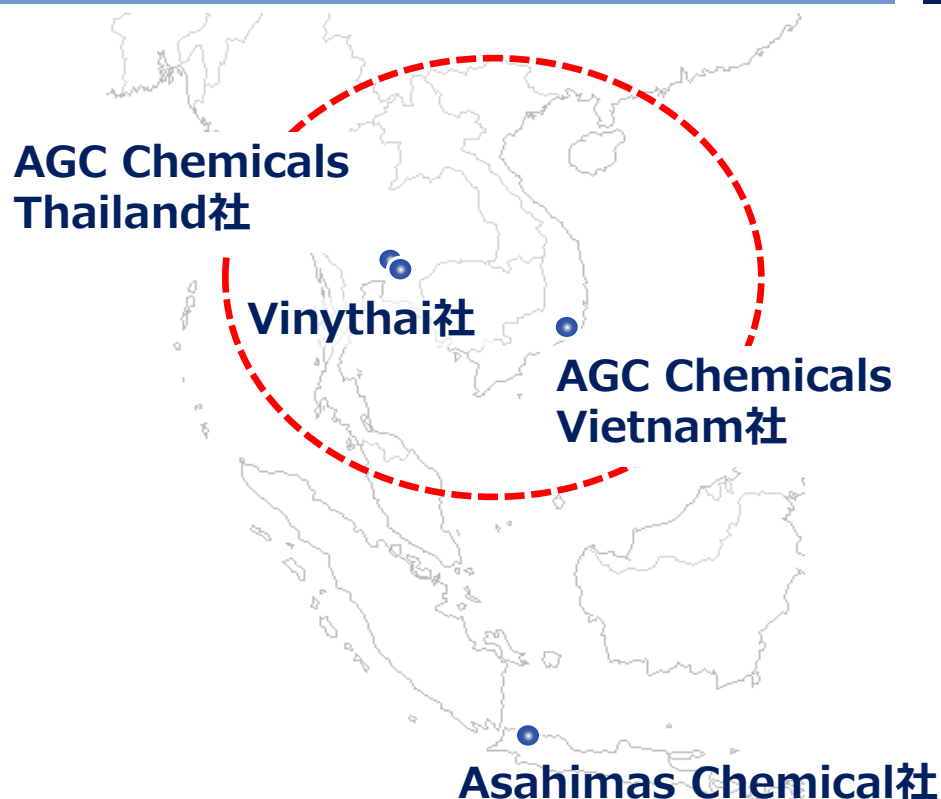
事業譲渡の資産対象拠点と主要設備



コア事業：東南アジア クロールアルカリ事業

- 東南アジアクロールアルカリ事業での高い市場ポジションをインドシナ3拠点の再編・統合により更に強化
- 高い市場ポジションで市場成長を取り込む

インドシナ3拠点の再編・統合



東南アジア生産能力ベースのシェア*



* 生産能力ベースシェア：苛性ソーダは域内に豪州／NZを含まず、塩ビは域内に豪州／NZを含む

GHG削減の取り組み

カーボン・ネットゼロ目標（2050年）

- 2014年に設定した2020年のCO₂削減貢献目標は概ね達成
- 製品、技術を通じたGHG削減に引き続き注力
- 2050年にカーボン・ネットゼロを目指す



2030年 マイルストーン（2019年比）

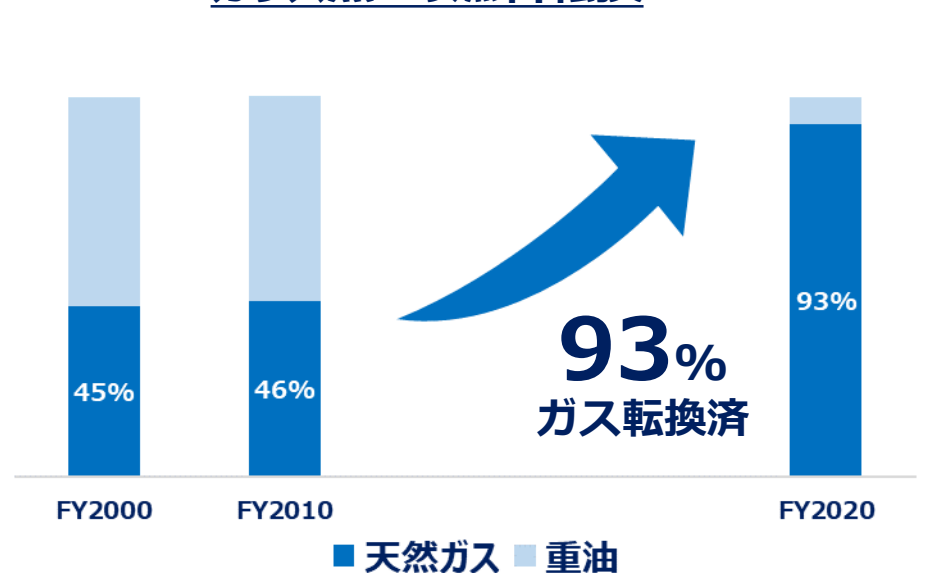
- GHG排出量 **30%削減**
(Scope 1+2排出量)
- GHG排出量売上高原単位 **50%削減**
(Scope 1+2排出量／売上高)

自社GHG排出量削減の主な取組み (Scope1)

ガラス溶解プロセス革新

- 重油よりも燃焼時CO₂排出量が約20%削減できる天然ガスへ燃料転換を推進
- 世界トップレベルの省エネガラス製造技術を開発

ガラス窯*の燃料転換



省エネガラス製造技術



ガラス溶解技術

- 酸素燃焼方式の導入
- 溶解用電気ブースターの導入
- 溶解熱源の電化を加速



セラミックス断熱技術

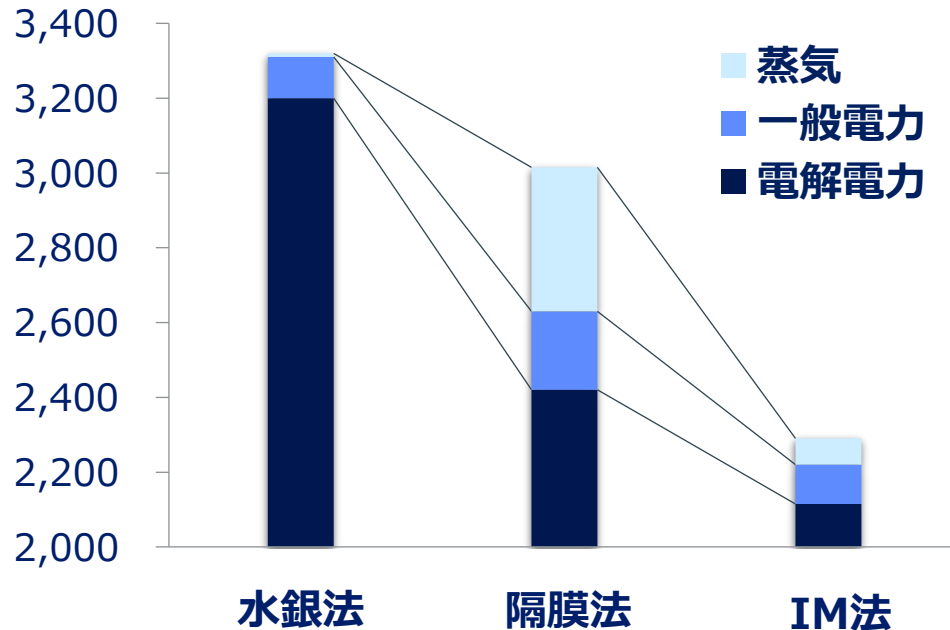
自社GHG排出量削減の主な取組み (Scope2)

クロール・アルカリ電解設備

- 環境負荷が著しく低い「イオン交換膜法(IM法)」を1975年に開発（世界初）
- IM法への製造方法転換により、電力原単位を大幅に削減
- イオン交換膜「フレミオン®」の外販を行い、業界としての環境負荷低減にも貢献

(AC kWh
/t-NaOH)

電解設備電力原単位*



	製造苛性ソーダ濃度 [wt%]	環境・健康影響
水銀法	50	水銀排水汚染懸念
隔膜法	12	じん肺・中皮腫 懸念**
IM法	32	無公害・安全

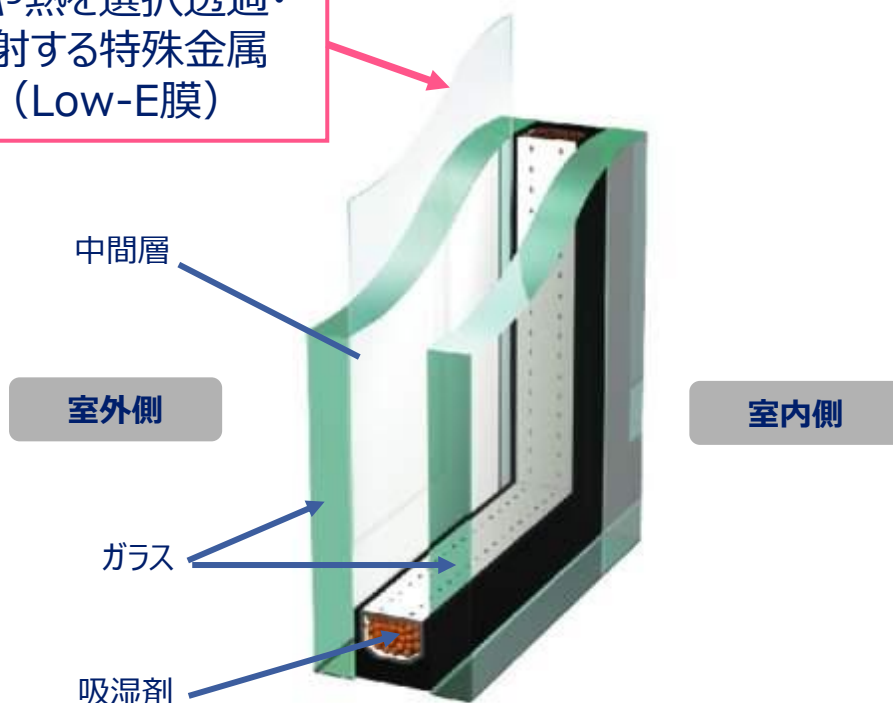
世の中の自社GHG排出量削減の主な取組み

Low-E複層ガラス

- 光や熱を選択透過し、建築物のエネルギー効率改善に貢献
- 1枚ガラスと比較して約78%、熱の移動を抑制*

エコガラスの構造

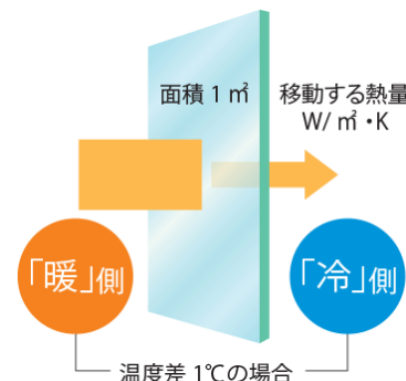
光や熱を選択透過・
反射する特殊金属
膜（Low-E膜）



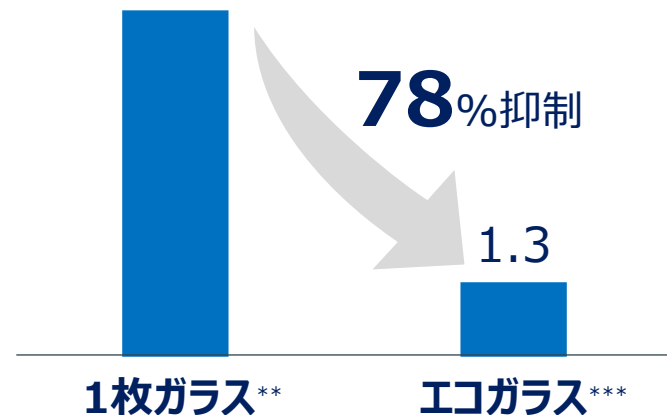
エコガラスの効果例

熱貫流率

内外温度差1℃で1時間・
1㎡あたりに通過する熱量



熱貫流率 6.0



*3ミリのフロートガラスとガス入りLow-E複層ガラスでの熱貫流率での比較

**3ミリのフロートガラス

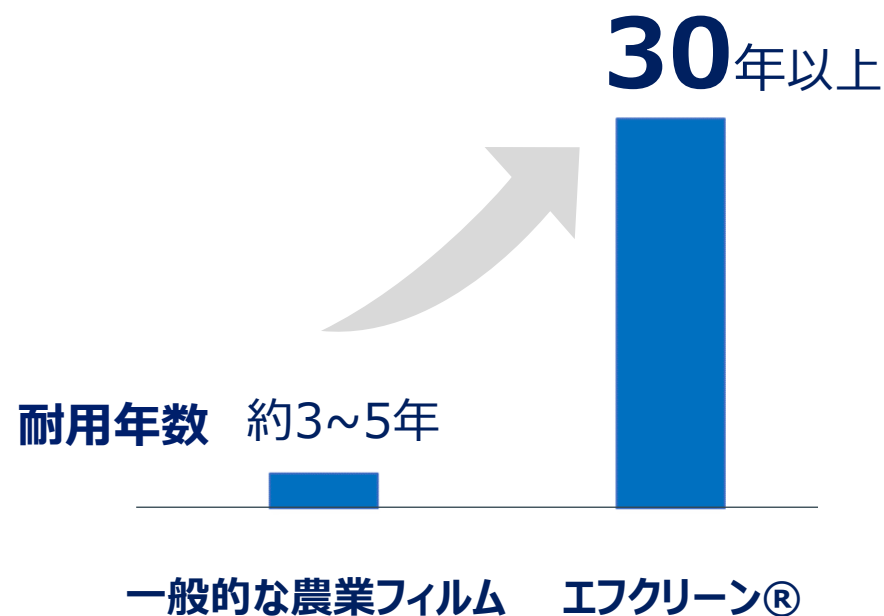
***ガス入りLow-E複層ガラス

世の中の自社GHG排出量削減の主な取組み 施設園芸用フッ素樹脂フィルム「エフクリーン®」

- 長寿命であるため、廃プラスチック排出抑制に貢献
- 高い光線透過率で農産物の生産性向上、品質UPに貢献



グリーンハウスでの採用事例



今期業績予想と株主還元

- コロナ禍で落ち込んだ事業の業績が回復基調であることに加え、塩化ビニル樹脂の高値継続により大幅な増収増益を見込む

(億円)

	FY2020	FY2021 (4/12予想)	FY2021 (8/2予想)
売上高	14,123	16,500	16,700
営業利益	758	1,600	1,800
税引前利益	571	1,420	1,870
親会社の所有者に帰属する 当期純利益	327	830	1,170
1株当たり配当 (円)	120	140	210
営業利益率	5.4%	9.7%	10.8%
ROE	2.9%	7.4%	10.5%

株主還元の実績

株主還元方針

当期連結業績や将来の資金需要等を総合的に勘案しながら、連結配当性向40%を目安とした安定的な配当を継続する。また、資本効率の向上に資する株主還元策として機動的に自己株取得を行う。

■ 中間配当 ■ 期末配当 ■ 記念/特別配当



自社株取得状況

自社株取得 (億円)	—	—	—	66	—	—	82	—	—	—	—	100	150	200	—	—	—
連結総還元性向	29%	42%	34%	88%	93%	25%	40%	62%	129%	131%	48%	65%	56%	51%	60%	81%	40%

日経平均とAGC株価の相関

※2018年1月4日株価を起点に増減率を表示



出所: Bloombergデータをもとに作成

$$\text{※1: 株価配当利回り} = \frac{\text{1株当たり配当金(2021年予想)}}{\text{2021/9/22株価(終値)}}$$

AGC 株価動向

(円)



出所: Bloombergデータをもとに作成

2021年9月22日
株価：5,760円
株価配当利回り※1：
3.65%

予測に関する注意事項

本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料（業績計画を含む）は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

この資料の著作権はA G C株式会社に帰属します。

いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。



Your Dreams, Our Challenge

AGC株式会社

東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

問い合わせ先 : 広報・I R 部

Mail Address : investor-relations@agc.com

Tel : 03-3218-5096

Fax : 03-3201-5390

www.agc.com

易きになじまず難きにつく
人を信ずる心が人を動かす
世界に冠たる自社技術の確立を
開発成功の鍵は使命感にあり

A G Cは、この創業の精神を礎に、
お客様とゆるぎない信頼関係を築きながら、
独自の素材とソリューションで、
時代のトップランナー達を支えてきました。

私たちはこれからも、互いの知見や技術を掛け合わせ、
人々の想いの先、夢の実現に挑んでいきます。

Your Dreams, Our Challenge